

# 学校建設（カンボジア）

小中学校15棟49室完成。  
着工分を含め建設実績は338棟に。

2015年度建設支援校リスト

建設累計	支援学校名	地域	受益者(生徒数)	受益者(教員数)	支援内容				机、椅子	井戸水タンク	靴箱
					校舎		トイレ				
					棟	室	棟	室			
312	ブローフォー中学校	ブレイベン州	369	16	1	4	1	3	100	1	12
313	サーコー小学校	バットバン州	240	12	1	4	1	3	100	1	12
314	アキラブーンスワイ小学校	シェムリアップ州	155	4	1	3	1	3	75	1	9
315	アンドウンピック小学校	トゥポークモム州	106	3	1	3	1	3	75	1	9
316	バンテアイチャックレイ中学校	ブレイベン州	371	16	1	4	1	4	100	1	12
317	クランリウ小学校	ブレイベン州	304	8	1	3	1	3	75	1	9
318	クランリウ小学校(補修)	ブレイベン州			1	3					
319	チェンダイ中学校	ブレイベン州	662	16	1	3	2	6	75	1	9
320	コークラウ小学校	ブレイベン州	245	6	1	4	1	3	100		12
321	クナーチチュン小学校	トゥポークモム州	172	3	1	3	1	3	75		9
322	コウプ小学校	バットバン州	115	6	1	3	1	2	75	1	9
323	ブーンタマイ小学校	バットバン州	123	5	1	3	1	3	75	1	9
324	プロフカット小学校	バットバン州	287	7	1	3	1	3	75	1	9
325	ブレイスヌール小学校	ブレイベン州	126	3	1	3	1	3	75	1	9
326	ブレイダンコム小学校	ブレイベン州	473	11	1	3	1	3	3		9
合計(2015年度実績)			3748	116	15	49	15	45	1078	11	138
327	マナウ小学校	バットバン州	395	16	1	4	1	3	204		9
328	コンボンチェン小学校	バットバン州	112	3	1	3			75		9
329	ブレイトーン小学校	バットバン州	130	6	1	3	1	2	75	1	9

※327の以降は2015年度内着工済(年度内未完成)の学校。実績は2016年度に加算されます。

※マナウ小学校の生徒用机・椅子は、日本から輸送された中古の机・椅子を寄贈しました。(p.7参照)

## 支援概況

今年度は各地の学校や州や郡の教育局から建設要望が届き、前年度の要望書も含めて28校の現地調査を実施しました。その中から、

- ①教室が足りずに運営に支障がある学校
- ②校舎の老朽化により授業が天候に左右される、又は倒壊の危険がある学校
- ③不完全校(6年生まで受け入れができない小学校)

などの情報を十分協議し、優先順位の高い学校から建設を行いました(写真A、B)。

本年度はカンボジア4州に、小中学校15棟49室、トイレ15棟45室、給水施設11基を建設しました(写真C)。これにより、カンボジア国内での校舎建設数はカンボジア20州で329棟(着工済校舎を含む)、ラオス1棟とネパール8棟を加えた総実績は338棟となりました。

また、今年度は建設後の学校約30校のモニタリングを行い、校舎と運営の確認を行うことができました。写真Dは、2013年9月に300棟記念校舎として寄贈したスワイトム中学校の現在の授業風景。

## カンボジアにおける校舎建設の実績

在カンボジア日本大使館の情報によると、日本のNGOにより建設、補修された小・中学校数は計8,725校のうち940校。JHPはこのうち261校の建設支援に携わりました。この数は、日本のNGOの実績の約28%に相当します。また、カンボジア全体の小中学校のうち約3%の学校をJHPが支援したと見ることもできます。

## カンボジアの現状を伝える各種コーディネート

プノンペン事務所では、贈呈式、視察、ボランティア活動、交流会など、年間24組310名の支援者を迎え、要望に合わせてコーディネートを行いました。

## 学習環境維持のための継続支援

各学校に割り振られる学校予算では、教材、文房具、図書、備品などの購入代、校舎修理代などを賄えません。2015年度は、新規及び既建設校30校以上にノート、ボールペン、図書、本棚などを寄付しました。ニーズに基づいた継続支援は、健全な学校運営に役立っています。(写真E)



A



B



C



D



E

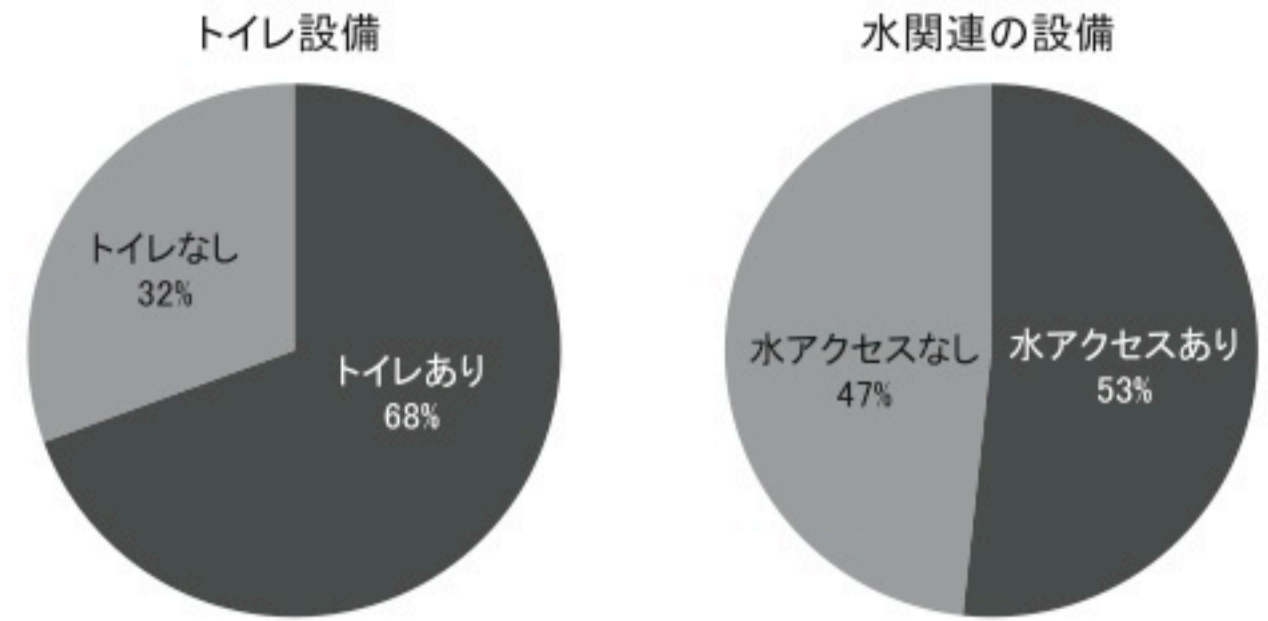
## プロジェクトの背景

国際機関、NGO等の援助により、カンボジアの状況は改善されつつあるが、一方で貧富の差は拡大している。小学校進学率は上昇しているが、不完全校(所定の学年まで受け入れができない学校)や教室不足の学校、校舎の老朽化等が深刻な学校も未だ多い。また、中学校への進学率も上昇しているが整備が行き届いておらず、教室不足のため、中学校も2部制の学校が増加している状況である。また、貧困が原因で進学が困難なため就学率が依然低い状況である。

## トイレや水を利用できる学校環境を目指して



### 学校内設備について



対象: 全国の小中高校 11,046校

JHPは、校舎建設と同時にトイレ、給水設備(井戸、給水タンク、ため池)の支援を行っています。2015年度は、トイレ15棟45室、井戸3基、給水タンク8基を支援。井戸水は研究機関で水質検査を行ない、ヒ素、大腸菌などの有無を学校に報告しています。

カンボジア全土の小・中学校、高校で、水を確保できない学校は約47%、トイレが無い学校は約32%を数えています。学校の衛生環境を維持するためには、水とトイレの確保が最優先となります。

## 「江東区」及び「江東区海外リサイクル支援協会」との連携で中古机・椅子を輸送

2015年7月、江東区の小・中学校から届いた机・椅子のうち、200セットをバタンバン州マナウ小学校に寄贈しました。尚、海上輸送のコンテナには、江東区をはじめ全国各地から当会に寄せられた楽器等も積み込み、各種支援に備えることができました。

## 各種インタビュー

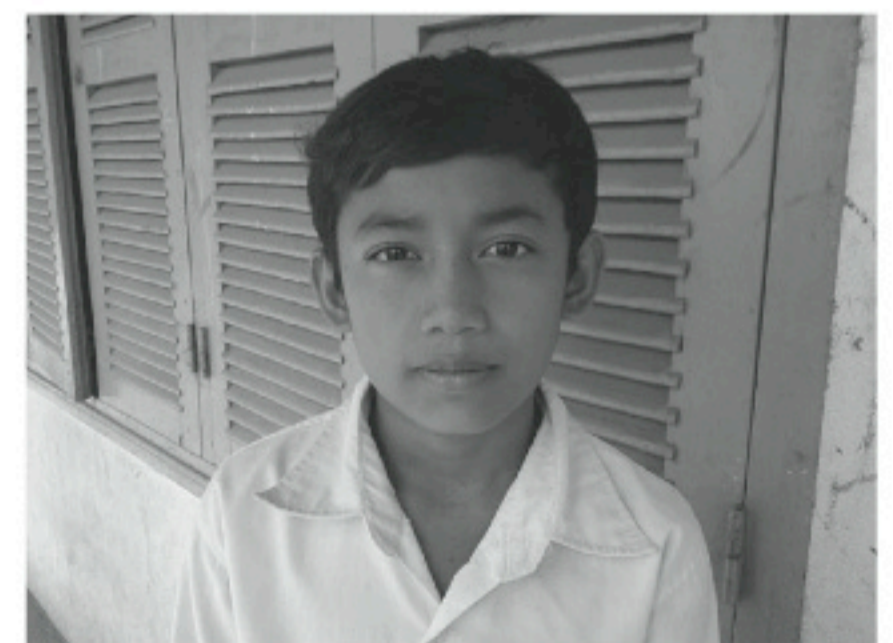
JHPでは、校舎建設のみならず、子どもたちの学びに欠かせない文具、図書、備品などをニーズに合わせて支援しています。ここでは、子どもたちや先生方の声をご紹介します。



学校名 マナウ小学校  
 名前 チュオン ホン(学校長)  
 感想 従来の木製のものよりも、綺麗で丈夫でぐらつきのない机と椅子を寄贈して下さい、感謝しています。児童たちもとても喜んでいました。



学校名 マナウ小学校  
 名前 チュッ リー  
 性別 女子 学年 4年生  
 年齢 15歳  
 好きな科目 クメール語、算数  
 将来の夢 先生  
 感想 日本から机と椅子を届けてもらいとても嬉しいです。頑張って勉強します。



学校名 トロピアンコック小学校  
 名前 ハック ミーン  
 性別 男子 学年 6年生  
 年齢 13歳  
 好きな科目 算数  
 将来の夢 エンジニア  
 感想 毎年いろいろな支援品をいただき感謝しています。とても幸せです。